

福島の旅

塚田 實

十月末三泊四日で福島県を旅行した。福島駅でレンタカーをし、磐梯吾妻スカイラインから磐梯吾妻レークライン、磐梯山ゴールドラインを経由して会津若松に向い、近隣観光をして大内宿から郡山駅に戻るルートで計画した。

磐梯吾妻スカイラインでは吾妻山の激しい噴気を間近に見、高原ドライブを楽しんだ。そこからレークライン經由磐梯山ゴールドラインに行こうとしたが、レークライン東側入り口は閉鎖され、仕方なく迂回した。後で調べると、レークラインは今年八月三日の豪雨で道路が流失、一時全面通行止めになり、西側から中津川溪谷レストハウス迄は八月二十五日通行止めが解除されたとあり、まったく事前調査不足だった。

ゴールドラインの中間にある星野リゾートで、夜「磐梯星あるき」イベントに参加、ホテルに隣接するゴルフ場まで歩き、そこで星空を観察する。満天の星空は澄んでいて、しばし時間を忘れさせる。星を眺めていると沖縄の波照間島や蓼科の空を思い出した。

五色沼湖沼群と裏磐梯の景観を楽しむためには、レークライン西からアプローチするしかないので翌日走った。途中毘沙門沼のレストハウスで一休み、ここでは紅葉が真っ盛りで裏磐梯の荒々しい山容が青空に映えていた。

会津若松では、幕末戊辰戦争の悲劇を偲びながら、鶴ヶ城、飯盛山の白虎隊所縁ゆかりの記念館、会津藩校「日新館」等を巡った。日新館の名前は、四書五経の『大学』に殷の湯王が壘たかいに「苟日新、日々新、又日新」と刻んだという故事から取ったという。私が中国に居たとき揮毫を頼まれると、この言葉をよく書いていた。

東山温泉と湯野上温泉に泊まり、露天風呂で秋の風情を愛で、福島酒と料理をたっぷり楽しんだ。

福島は今まで山に囲まれた県だと思っていたが、福島盆地や郡山盆地の中通り、会津盆地など平地が多い米どころで、生産量も二〇二一年には全国七位を誇ったようだ。旅を終えて、福島県は豊かな自然と文化に恵まれた素晴らしい県だと再認識した。